

2024年1月18日
株式会社みずほ銀行

中国におけるパンダ債引受主幹事ライセンスの取得について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）の中国現地法人であるみずほ銀行（中国）有限公司（以下「みずほ銀行（中国）」）は、本日、認可当局である中国銀行間市場交易商協会（通称：NAFMII）より、中国国内（本土）で非居住者が発行する人民元建て債券（通称：パンダ債）の引受主幹事ライセンスを取得しました。

中国では政府主導のもと、債券市場の対外開放が進んでおり、債券残高は約2,500兆円（2022年末時点、BIS）と、米国に次ぐ世界第2位の規模にまで拡大しています。その中でも、NAFMII債^{※1}の債券残高は約300兆円（2023年9月末時点、NAFMII）と、巨大な資金調達手段となっています。

みずほ銀行（中国）は、2019年9月にNAFMII債の引受ライセンスを取得^{※2}しています。今回の引受主幹事ライセンスの取得により、パンダ債においては主幹事としてお客様の人民元調達手段の多様化をサポートし、投資家へより多様な運用手段を提供することが可能となります。

〈みずほ〉は、今回のライセンス取得やこれまでの中国債券市場における引受業務のノウハウ等をいかし、中国資本市場の更なる発展に貢献するとともに、お客様の中国および人民元ビジネスを従来以上に力強くサポートしていきます。

※1 NAFMII債：

中国国内の直接金融市場における主要な人民元調達手段として広く活用されている、コマーシャル・ペーパー・中長期社債等を指し、国内地方公共団体や一般事業法人に加え、数多くの外国政府・事業法人等も発行しています。

※2 2019年9月30日ニュースリリース：中国NAFMII債引受ライセンスの取得について
https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20190930release_jp.pdf

以 上

ともに挑む。ともに実る。

